

尾道市空き家バンク制度要綱を次のように定める。

平成21年10月1日

尾道市長 平谷 祐 宏

尾道市空き家バンク制度要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、特別区域における空き家の有効活用を通して、尾道市を代表する眺望景観を有する景観地区の景観保全、尾道市民と市外居住者等との交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図るため、空き家バンク制度について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 「空き家」とは、個人が居住を目的として建築し、現に居住していない（近く居住しなくなる予定のものを含む。）市内に存在する戸建ての建物をいう。
- (2) 「所有者」とは、空き家及び土地に係る登記簿上の所有者で、当該空き家の売買、賃貸等を行うことができる者をいう。
- (3) 「空き家バンク」とは、この要綱の定めるところにより、空き家の売買、賃貸等を希望する所有者から登録申込みを受けた情報を公開し、市内への定住等を目的として空き家の利用を希望する者（以下「利用希望者」という。）に対し、情報を提供する仕組みをいう。
- (4) 「特別区域」とは、西土堂町、東土堂町、長江一丁目、西久保町及び東久保町をいう。

(空き家バンク以外の取引との関係)

第3条 この要綱は、特別区域において、尾道市空き家バンク制度以外による空き家の取引を妨げるものではない。

(空き家の登録申込み等)

第4条 空き家バンクへの空き家に関する情報の登録を希望する所有者は、尾道市空き家バンク物件登録申込書（別記様式第1号）及び尾道市空き家バンク物件登録カード（別記様式第2号）を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による登録申込みがあったときは、その内容等を審査の上、尾道市空き家バンク物件台帳（以下「空き家台帳」という。）に登録するものとする。ただし、当該空き家が次の各号のいずれかに該当する場合は、空き家台帳へ登録しないものとする。
 - (1) 当該空き家が、第2条第1号の空き家の条件を満たしていないもの
 - (2) 当該空き家の登録申込者が、第2条第2号の所有者の条件を満たしていないもの
 - (3) 所有者に市税、保険料等の滞納があるもの
 - (4) 老朽化が著しいもの又は大規模な修繕が必要なもの
 - (5) その他市長が空き家バンクへの登録が適当でないことを認めたもの
- 3 市長は、前項の規定による登録をしたときは、尾道市空き家バンク物件登録完了書（別記様式第3号）により当該登録申込者に通知するものとする。

(空き家に係る登録事項の変更又は取消しの届出)

第5条 前条第3項の規定により登録完了の通知を受けた者(以下「空き家登録者」という。)は、当該登録事項に変更があったときは、速やかに登録事項の変更内容を市長に届出なければならない。

2 空き家登録者は、成約その他の事由により当該空き家に係る空き家台帳の情報を取り消すときは、尾道市空き家バンク物件登録抹消届出書(別記様式第4号)を市長に提出しなければならない。

(空き家台帳の登録の抹消)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、空き家台帳の当該空き家に関する登録を抹消し、尾道市空き家バンク物件登録抹消通知書(別記様式第5号)により当該空き家登録者に通知するものとする。ただし、第5号に該当することにより登録の抹消を受けた者は、改めて第4条第1項の規定による登録の申込みを行うことにより、再度登録をすることができる。

- (1) 所有権その他の権利に異動があったもの
- (2) 当該空き家登録者から尾道市空き家バンク物件登録抹消届出書が市長に提出されたもの
- (3) 登録内容に虚偽があることが判明したもの
- (4) この要綱の規定に違反することが判明したもの
- (5) 登録された日から2年が経過したもの
- (6) 前条第2項の規定による尾道市空き家バンク物件登録抹消届出書が提出されていないが、成約したことが明らかなもの
- (7) その他市長が空き家台帳から抹消する必要があると認めたもの

(登録空き家情報の公開等)

第7条 市長は、必要に応じて第4条第2項の規定により登録した空き家に関する情報(以下「物件情報」という。)を、ホームページ及び広報等により公開するものとする。

2 市長は、必要に応じて物件情報を、第9条第2項の規定により登録された利用希望者(以下「空き家利用者」という。)に提供するものとする。

(利用希望者の要件)

第8条 空き家バンクにより空き家の利用を希望する者は、次の要件を満たしていなければならない。

- (1) 空き家に定住し、又は定期的に滞在して、尾道市のまちづくりに対する理解を深め、地域住民と協調して生活できる者
- (2) その他市長が適当と認めた者

(利用希望の申込み)

第9条 空き家バンクにより空き家の利用を希望する者は、尾道市空き家バンク利用申込書(別記様式第6号)に、空き家台帳に登録されたもののうち利用を希望する空き家の登録番号その他必要な事項を記入し、市長に申し込むものとする。

2 市長は、前項の規定による利用の申込みがあったときは、その内容等を審査の上、空き家バンク利用者台帳(以下「利用台帳」)に登録するものとする。

(利用希望者に係る登録事項の変更又は取消しの届出)

第10条 空き家利用者は、当該登録事項に変更があったとき又は利用台帳への登録事項を取り消すときは、速やかに市長に届け出なければならない。

(空き家バンクの登録の抹消)

第11条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用台帳の当該空き家利用者に関する登録を抹消するものとする。ただし、登録の抹消を受けた者は、改めて第9条第1項の規定による利用の申込みを行うことにより、再度登録をすることができる。

- (1) 前条に規定する取消しの届出が市長にされたとき。
- (2) 登録内容に虚偽があることが判明したとき。
- (3) この要綱の規定に違反することが判明したとき。
- (4) 利用を希望する空き家が成約したとき。
- (5) その他市長が空き家利用者として適当でないと認めたとき。

(空き家登録者と空き家利用者の交渉等)

第12条 市長は、空き家登録者と空き家利用者との空き家等に関する交渉及び売買、賃貸借等の契約については、直接これに関与しないものとする。

2 契約等に関する一切のトラブル等については、当事者間で解決するものとする。

(個人情報の取扱い)

第13条 空き家登録者及び空き家利用者は、空き家バンクにおける個人情報の取扱いについて、次の事項に留意するものとする。

- (1) 個人情報を他に漏らし、又は自己の利益若しくは不当な目的のために取得、収集、作成及び利用しないこと。
- (2) 空き家バンクから取得した個人情報にあつては、当該個人情報を市長の承諾なくして複写又は複製をしてはならないこと。
- (3) 個人情報をき損及び滅失することのないよう適正に管理すること。
- (4) 個人情報は、利用後速やかに廃棄又は消去その他適正な措置を講じなければならないこと。
- (5) 個人情報について漏えい、き損又は滅失等の事案が発生した場合は、速やかに市長に報告し、その指示に従うこと。

(経過規定)

第14条 この要綱施行の際、市長の意向調査に対して文書で同意した空き家については、この要綱により尾道市空き家バンク物件台帳に登録したものとみなす。

(その他)

第15条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年10月1日から施行する。